

解 答

一

問一 これ以上、母にもできないところを見せたくなかった〔から〕

問二 中間テスト同様点数が悪かっただけでなく、モトイがテストの結果をかくしていたので、母の怒りが強かったということ。

問三 特技やできることがたくさんあり、頼りにされる人物。

問四 ウ

問五 最初 自分ができ 最後 つけること

問六 ア・イ

問七 ア・ウ

問八 兄

問九 エ

問十 1 ウ 2 イ 3 ア

問十一 a 覚〔える〕 b 演奏 c 晴〔らして〕 d 破〔いた〕

二

問一 よく

問二 ウ

問三 最初 途中の道ば 最後 肝心なもの

問四 自然が起こす現象そのものを否定した段階で、「自然科学」は「自然」の謎を解き明かす学問とは言えなくなること。

問五 エ

問六 イ・ウ

問七 ア

問八 科学者は普通の頭の悪い人よりももっと頭が悪くなければならないこと。

問九 A ア B イ C ウ

問十 イ

問十一 a こんらん b まいきょ c ひとすじ d すぐ〔れた〕

解 説

一

問一 4行後に、「モトイは全然だいじょうぶではなかった」とありますので、モトイが「だいじょうぶ」ではないのに、家で母に勉強のわからないところを聞かなかった理由、彼の心情を探します。モトイはアメリカにいたときは、「できる」ことがたくさんあったのに、今日本では、日本語がわからないために「できない」ことばかりになってしまった。「できない」と何度も何度もお母さんに言うのが嫌で、本当は違うのに「だいじょうぶ」と言っていたと読み取れます。

問二 「ひどかった」の内容を具体的に書きます。「点数が悪かった」ということと、「悪い点数のテストをモトイがかくしていた（だから中間の時以上に母にしかられた）」ということ、両方を指していると考えられます。

問三 モトイがアメリカではどのような人物だったかは、傍線③の7行後の「アメリカに～」から7行にわたって書いてあります。コンピュータやドラムなど具体的に例があがっていますが、それらをまとめているのが、「モトイは、アメリカでは～『頼れるお兄ちゃん』だった」の二文です。ここを字数に合うように簡潔にまとめます。

問四 母の言葉に「うなずいた」のですから、直前の「わからないところは、そう言わないと、できるようにならないよ」という言葉を認めたのは明らかです。「わからないとは言いたくない」それが本音であり、ずっと苦しみの種であったのですが、母の言うことはどう考えても正しい、それで、辛い気持ちを抑えて「少しだけ」うなずいたのだと読み取れます。

問五 これもかなり後にはなりますが、『『かのうせい』ってこういうことを言うのかと、少しわかったような気がする』と書いてあり、その直後に「自分ができること、自分が持っている力、本当の自分を見つけること

なのだろう」とあるので、この部分（～「こと」まで）が「かのうせい」の意味だとわかります。

問六 「帰ってきて」「～ごほうびが待っていた」とあるので、キャンプ後に母からモトイにもたらされたものを選びます。

問七 「机の上に～いつもきちんと置いてある」は、いつもモトイがそれを手元に置いていて、何度も何度も見ていることを意味しています。モトイにとって、りんたろうくんと二人でつくって発表した歌は、モトイの「かのうせい」の一つであり、落ちこんでいたモトイに彼の「かのうせい」を発見させてくれた、きっかけになった大切なものでもあります。

問九 受身の意味で用いられているものを選びます。

二

問一 「科学者は頭がよくなくてはいけない」と「科学者は頭が悪くなくてはいけない」という、二つの相反する命題がどうして成り立つかを説明している部分の初めです。「緻密な頭脳」「前途を見通す内察と直観の力」とあるので、前者の方の命題だとわかります。

問三 同じ形式段落内で解決する問題です。「拾って行く」とあるので、（どこかでだれかが）落としたものを探します。すると、「見落とす」に着目できるでしょう。比喩表現のまま答を出すので、注意が必要です。

問四 本来「自然科学」とは、われわれの周囲に起こるさまざまな自然現象の謎を解き明かす学問であるはずですが、その前提となる自然現象自体を「まちがっている」と考えてしまっては、学問は成り立ちませんね。

問五 直後の「失敗をこわがる人は科学者にはなれない」と同義のことわざを入れます。

問六 直前の二文に、具体例が挙がっています。「そういう別の世界」とは、「哲学」や「芸術」の世界だとわかりますね。

問七 「忘れてはならないこと」は、同じ段落の前半に「科学者が」「時としておちいる一つの錯覚」として書かれています。「それは、科学が人間の智慧のすべてであるかのように考えること」とあります。

問八 「世迷言」とはもともと、「他人に通じないことをくどくど言うこと」という意味があります。ここでは、筆者独自の考え方ととらえられます。これを聞いて、「頭のいい学者」は「不快に感じ」、「頭の悪い」「科学者」は「会心の笑みをもらす」とあることから、筆者の主張の中でも特に、「科学者は頭が悪くなくてはならない」という命題が必ず含まれていなければならないことがわかります。

問九 A 「頭がよい」に、正反対の「頭が悪い」という条件が続くので？ B 「世間でいうところの」程度の意味です。 C 「つまり」などと同義の言葉。